

## 私の英会話学習歴

野村 忠昭 \*

Tadaaki Nomura

小学校3年まで東京都中野区高円寺の近くに住んでいた少年時代、洋画好きの父親に連れられてよく西部劇を見に行った。

ジョンウェイン、ゲーリークーパーなどのスクリーンの勇姿を今でも思い出す。青い空、白い雲がかかった山々など西部の広大な遠景が好きになった。父親の転勤で移り住んだ福岡市でもよく兄弟で洋画を見に行った。その頃から何となくスクリーンで使われている英語に憧れ、何とか洋画を字幕なしに理解できたという希望を強く持つようになった。初めて英語を母国語とする外人とじっくり話す機会を得たのは18歳の時だったと思う。当時北九州市の工科大学に進学していた私は例の英語に対する憧れもあり何とか聞ける英語、話せる英語を目指し英会話クラブに所属した。当時その工科大学は在校生約2000人の内女子学生は僅か2名で極めてバンカラな気風であった。「英会話クラブなど軟弱な者が入るクラブ。」と言われ肩身が狭い思いをしたのを覚えている。通常のクラブ活動はみんな（といっても集まるのはいつも4～5名）でテープを聴いて復唱するのが主たる活動であった。

当時の代表的な英会話テープはリングフォンかコーティナレコードの2本しかなく、最新式テープレコーダも15Kgもする重いものだった。とにかく毎日テープを繰り返し聞いた。今でもそこで記憶したフレーズを思い出すことがある。単調なクラブ活動のなかでも週に1度、隣接するミッションスクールに所属するカナダ出身のシスターの好意で彼女とFree Discussionする楽しみがあった。

楽しみにしていたFree Discussionであったが、シスターが1人でしゃべりまくることが多く、当

方は聞いてばかりでなかなか会話にならなかったが、1年もすると外人に対して物怖じしなくなるようになった。

次なる英会話集中体験はIHIに入社し、電力事業部相生工場に配属になって5年が過ぎた27歳の時であった。当時ボイラーの設計、製作で技術提携していた米国FW社（Foster Wheeler社）のNY州にあるボイラ製造工場を詳細に勉強する機会を与えてもらった時である。先ずNYにあるIHI-INC（9.11で消滅した世界貿易センタービルにあった。）に挨拶し、FW社のNJ（New Jersey）州にある本社に行きその後NY州の北にある2工場で最新の溶接方法などを2週間勉強した。

初めから終わりまで全くの1人旅でNYの空港に降りた時は、単なる1スタッフには当然出迎もなく心細かったが、学生時代の体験で度胸と僅かな英会話力がついていたのが幸いした。FWの工場調査を終了するとその後2週間掛けてワシントン、テネシー、テキサス、ロサンゼルスにある有名な溶接機メーカー、溶接材料メーカーを訪れ1ヶ月の米国出張を終えた。後半の2週間は自分でコース、訪問先を選び東海岸から南へ下り西海岸まで行き帰国した。今思えば時間的に贅沢な出張をさせてもらったと感謝している。帰国する頃にはだいぶ米国に慣れて英語も少しは上達していたと思う。やはり旅は1人で苦勞するに限ると思った。余談だが帰国後は何とか出張の成果を出そうと心掛け、出張で調査した技術をもとに日本での溶接材料の開発を待ち、約10年後にボイラーのドラム（気水胴）製作で一番時間を要する降水管台（大径・厚肉の配管）とドラム本体の溶接を手溶接から半自動溶接に変えた。

\* 西日本事業部 事業部長

従来の手溶接工数の約半分にし、10年後にやっと出張の投資効果を出したと自負したものであった。

その半自動溶接施行採用から約20年たった今でも、相生工場ではドラム製作は同じ溶接方法が使われている。

英語上達への思いは何歳になっても冷めやらず、自分が上達しないぶん、対象を子供達(2女1男)に向けて行った。子供達は迷惑だったかも知れないが、彼らの英語の家庭教師をすることにした。彼らが中学校へ入学すると先ず、学校で習う英語リーダーのCDを購入し、土曜、日曜の夜2時間を子供と一緒にCDを聞き、繰り返し読ませた。

語学教育はなんと言っても母国語を話す人から習うのが一番である。我々の時代は発音の下手な日本人英語教師から学んだものだが(現在も一緒かも知れないがALT: Assistant Language Teacherと呼ばれる英語のネイティブスピーカーが1名は各学校いるようだ。)今では書店に申し込みば教科書の内容を英米人の吹き込んだCDを購入することができる。CDのリスニングと復唱で子供達はその週に習うリーダーの予習ができ、自分も中学、高校レベルの英語が復習できて一石二鳥だった。私が土日に在宅している限り子供3人が中学、高校を卒業するまで殆ど毎週繰り返した。自分も子供達が学校でどんな事を習っているかを知ることができた。ただし、彼等はこの土日の勉強にすっかり頼り切り、自分達ではあまり勉強しなかったためか学校での英語の成績は大して上がらなかった。それでも実用英語には少しは役立ったのだろうか、英検準1級、英検準2級、英検2級の資格を各々取得できた。

一方、会社では40代後半になると製造部門から調達部門に異動し、円高に比例して頻繁に海外調達を行うようになった。調達先は人件費の安い東南アジアが主体であったが英語の使用頻度は格段に多くなっていった。

海外の出張、価格交渉、メールのやり取りを通じて海外の人達とのネットワークできてきた。様々な国籍の人達とコミュニケーションをすることはその人の背景にある宗教、文化、生活様式を知ることであり、日本人が常識と思っている

ことが世界ではとんでもない非常識な場合もあることを身にしみて感じた。

このころ築いた海外の人脈は当時から10年以上経った今でも維持しており現在の業務に役立つこともある。少年の頃に抱いた夢「洋画を字幕なしで楽しむ。」は未だ達成されていないが、IT時代の到来と共に生の英語に接する機会は格段に増えた。インターネットで海外のニュースの動画を見ることができ、NHKラジオ英会話講座の配信も受けられる。You Tubeをみれば今なら米国大統領候補の選挙演説が何時でも英語で聞ける。スカイパーフェクトテレビではCNN、BBC、BLOOMBERG(海外の為替、株式、債券の金融市況や関連ニュースを専門に放映)を24時間聞くことができ、それをICレコーダに録音すればどこにいても勉強できる。

留学せずとも探せば機会や環境はいくらでも作り出せる。『語学は「お金」ではなく「時間」で上達する。』を信念に何時の日か夢を実現したいものである。



調達部時代に知り合った  
インド人 クリシュナン  
(2007年、クアラルンプールにて)



西日本事業部  
事業部長  
野村 忠昭

TEL. 0791-23-3720  
FAX. 0791-24-2748

◆本 社 総務 品質保証部	〒140-0014 東京都品川区大井1-22-13 米山ビル	TEL(03)3778-7900 FAX(03)3778-7950
		TEL(03)3778-7909 FAX(03)3778-7951
◆営業統括部	〒140-0014 東京都品川区大井1-22-13 米山ビル	TEL(03)3778-7925 FAX(03)3778-7952
北関東営業所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷3-2-18 高智穂ビル6階	TEL(028)637-7547 FAX(028)637-7629
中部営業所	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビル12階	TEL(052)583-6855 FAX(052)565-7709
関西営業所	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4-2-12 東芝大阪ビル8階(株)IHI 関西支社内	TEL(06)6245-5491 FAX(06)6281-2186
九州西中国営業所	〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2-17-38 コンダクト浅野第3ビル	TEL(093)511-3800 FAX(093)511-3900
◆技術研究所	〒235-8501 神奈川県横浜市磯子区新中原町1 (株)IHI 技術開発本部内	TEL(045)759-2927 FAX(045)759-2155
◆検査事業部		
金沢事業所	〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦1-9-4	TEL(045)784-6725 FAX(045)784-6778
第一検査部	〒140-0014 東京都品川区大井1-22-13 米山ビル	TEL(03)3778-7922 FAX(03)3778-7951
磯子事業所	〒235-8501 神奈川県横浜市磯子区新中原町1 (株)IHI 技術開発本部内	TEL(045)759-2280 FAX(045)759-2146
◆計測事業部		
金沢事業所	〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦1-9-4	TEL(045)784-6821 FAX(045)784-6893
磯子事業所	〒235-8501 神奈川県横浜市磯子区新中原町1 (株)IHI 技術開発本部内	TEL(045)759-2281 FAX(045)751-0357
◆研究開発事業部		
磯子事業所	〒235-8501 神奈川県横浜市磯子区新中原町1 (株)IHI 技術開発本部内	TEL(045)759-2136 FAX(045)759-2137
◆システム事業部		
霞ヶ浦事業所	〒300-0604 茨城県稲敷市釜井1720	TEL(0299)80-4010 FAX(0299)80-4040
設計開発部 第二グループ	〒140-0014 東京都品川区大井1-22-13 米山ビル	TEL(03)3778-7965 FAX(03)3778-7968
◆西日本事業部		
愛知事業所	〒478-0046 愛知県知多市北浜町11-1 (株)IHI 愛知事業所内	TEL(0562)31-8211 FAX(0562)31-8235
相生事業所	〒678-0041 兵庫県相生市相生5292 (株)IHI 相生事業所内	TEL(0791)23-3720 FAX(0791)24-2748
呉事業所	〒737-0027 広島県呉市昭和町2-1 (株)アイ・エイチ・アイ・マリンユナイテッド呉工場内	TEL(0823)25-1100 FAX(0823)26-2530
◆高嶋技研	〒919-0742 福井県あわら市瓜生29-2	TEL(0776)74-1111 FAX(0776)74-1112

## IIC REVIEW (2008 / 4. No.39)

編集委員長 荒川敬弘  
 編集委員 中代雅士 久野昌平 佐藤秀一 庄司廣治  
 鈴木利昭 中西光夫 三上隆男 福田敬則  
 三船正純 萩原 実 茂田潤一

編集事務局 熱田美道

発行責任者 川嶋鋭裕

発行所 石川島検査計測株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井1-22-13 (米山ビル)  
 電話：(03) 3778-7900 (代表)

印刷所 株式会社クロスワークス

〒135-0061 東京都江東区豊洲1-2-34 (丸石ビル)  
 電話：(03) 3534-3494

不許複製